

2023

令和5年6月13日

第18号

(通算64号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 就職合格、嬉しい報告!

本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。合格を頂いた企業と学生は次のとおりです。

「株式会社 デンサン」阿部 剛 (太田西山高卒) さん

「関東情報サービス株式会社」曾根叶多 (太田一高卒) さん

「株式会社日本コンピュータシステム」青山莞大 (下館工高卒) さん



左から 阿部 剛さん、曾根叶多さん、青山莞大さん

Q1 これからのIT活用と抱負?

A1 阿部さん

「みんなから尊敬されるIT技術者」

曾根さん

「プロジェクトを任せられるような技術者を目指したい」

青山さん

「人や物をつなぐ架け橋のような技術者です」

Q2 あなたの趣味は?

A2 阿部さん「運転、バスケ、TikTokを見る」 曾根さん「プロ野球観戦、eスポーツです」 青山さん「楽曲の考察です」

Q3 本校での学びと成果は?

A3 阿部さん「メンタルを鍛え、頭の使い方を学びました」 曾根さん「プログラミング言語を学んで、様々なプログラムをつくれるようになった」 青山さん「調査方法、コミュニケーション等、基本的な考え方が学べました」

4 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2023年6月9日)
加藤組 (混合複) 初制覇

◇要約

●吉田碧遥さん (土浦三高卒)

先日の女子ダブルスでは、加藤選手の打った球がボールガールに直撃し、失格となった。しかし、今回の混合ダブルスでは失意から立ち直り、勝利をつかみ取った。加藤組が初制覇という結果となった。

◇感想

●仲嶋裕文さん (水戸平成学園高卒)

人は生きていてこれでもかと思うぐらい不運で辛い出来事が重なる時がある。それを乗り越えた先に自分が望んだ未来が待っていると思う。

加藤選手の優勝も、辛さを乗り越えたからこそ、手に入れられたのだろう。

●佐藤彩乃さん (佐和高卒)

失敗しても諦めずに「失格は不運だったが、前を向いて全力を尽くせた」と胸を張って言えるのは、素晴らしいことだと思う。

ショックを受けて「帰ろうか」と思っても、周りの人達の応援も前向きになれた要因の一つだと思った。

●藤枝紘生さん (水戸工高卒)

私も学生時代にテニス部でダブルスをしていたので、落ち込んだりしたときに、何度もペアに救われた経験がある。

プッツの行動に非常に感動した。ダブルスは、二人で戦うが、1+1が無敵大に広がる可能性がある。

●ディアナさん (インドネシア教大卒)

試合で勝利を掴んだ加藤組は、エントリーの締め切り2分前の急造ペアだった。そして勝利したのは素晴らしいと思う。

試合では、第一セットを落としても、全力で打ち勝った。

人生でもそうありたいと思う。



2 企業で役立つ学び

本校の指導陣の特色の一つは、経験豊富な業界出身のプロがそろっていることです。ソフトウェア設計実習(単体テスト)では、企業でシステム開発に従事していた川原英世先生です。

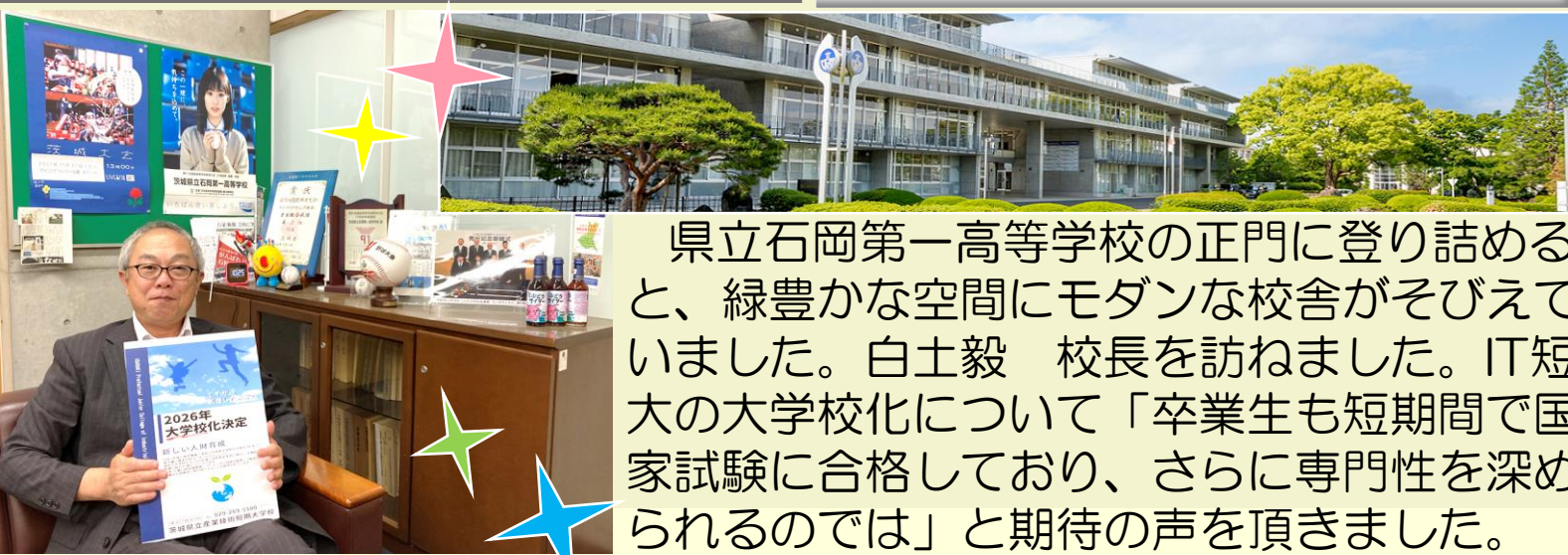
多くの卒業生から、「就職した現場で役立っています」との声を頂いています。必死に取り組む学生の姿が印象的でした。



丁寧に学生を指導する川原先生

3 みんなの母校訪問

茨城県立石岡第一高等学校



県立石岡第一高等学校の正門に登り詰めると、緑豊かな空間にモダンな校舎がそびえていました。白土毅 校長を訪ねました。IT短大の大学校化について「卒業生も短期間で国家試験に合格しており、さらに専門性を深められるのでは」と期待の声を頂きました。